萩の露

坤

中村俊定文庫
文庫 18
882
2

宮城県図書館蔵書

萩笠集下

夕晴の一すぢ残る山の端　崔九

遠く来る人を待つ夜の月　素明

水鄙の白ひかり来る物ならん　西馬

机のうへの風景哉　九

月の出の水鄙の解る折から　明

笠ぬぎて一杯の酒の寂しさ　馬

中村俊定文庫

大きい釜のお粥を煮る
支度係は炊事場の
唖のように黙って
木の葉の色の変る
居眠りの番をする
遠くの海に
洗ひ場の煙の
わびしい怪奇を

丸
的
馬
丸
的
馬
丸
的
馬

経を記念碑に
十年立ちもつ
寺守も変り
面影の中に
出代の話の
家族の面影
一寸した場の
わすれる色の

丸
的
馬
丸
的
馬
丸
的
馬

神明の[illegible]而のまゝ為[illegible]

元

[illegible]馬[illegible]門を出[illegible]

明

[illegible]の事ヲ[illegible]

馬

[illegible]解ヲ[illegible]の[illegible]

丸

山[illegible]の[illegible]の時

明

上[illegible]ヲ[illegible]物[illegible]の月

弓

[illegible]の売ハ[illegible]へ[illegible]

丸

[illegible]かゝぬ魚の[illegible]

明

新[illegible]き年[illegible]

馬

[illegible]ヲ[illegible]の[illegible]病

元

[illegible]ひき[illegible]の[illegible]

明

[illegible]ハヲ[illegible]

弓

十四五ヲ[illegible]の[illegible]

丸

[illegible]ヲ[illegible]船

明

雪の止まぬ袖を見る時　西馬
折つる人の庭の紅葉　茅明
帰の条筋年ふる家の
ながめに秋をしのぶ　明
袖の露に新雪ふる冬の月　馬
秋は休まぬ夜を頼もう　明

千年ふるの古木をしぼる秋の水　馬
京都の京都商人　明
条の条水流れて一筋　馬
涼しき夏の涼傳　明
長き筆筒の絵の巻紙　馬
風吹く秋の夕暮れ　明
ひ雲の蔦の月の空　馬
七年八年の月と明る紅葉　明

踊子はの角力を見物する
見物者を待て吉乃引角
寺を横手に小祠を拜する花
菜の試みを見る事
多行記の第十篇の陸の條
電に奇る事
代官の見事なる紋山
菜の切干を味噌に煮る事

馬
的
馬
的
馬
的
馬
的
馬

夜に紙屋の姫様の事と
小唄を歌ふ事
舞
踊を中止する事
竹を切る法の面白き事
細工の事
叮嚀な
風邦の菜
切機を拾ふ事
菜を切る事

馬
的
馬
的
馬
的
馬
的
馬

物の動くに霧を踏歩行
茅を分くる鶴の高あるき　馬
物思ふ火を焚く年の暮　所
蓑濡る尾張の細の灯時　馬
花達磨雪に蓑着る　所
張寸物つく筒の山吹　馬

山月の廻り来る西の郎　城中　所望
蕪を洗ふ鶴の蓑　こうもり　所安
あるかな物の古の月　イト　法術
雲中の山もこうの郎　上元　探豊
夕の月影うれる山の峯　谷朔
七夕と見る物の時　時雨　豊名
出羽する極の傳を小嘉こうの角　伊人
鶴の舞る角の言葉　来安

[illegible]山の[illegible]笑ひ[illegible]　六國
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]水の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]山[illegible]　一郎
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]の[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]　[illegible]

雲の柳ちる雪の郭　蕎麦
西吉野中院の里の宮　中納言
鶯啼も物ふる中雪の雪　郭水
柳もちる中雪の海士の砧　頼甫
長い秋をも何ぞ長の風　如石
四郎が答を取る枕の郭　心見
郭雪中雪ふる中書遊（トツケ）　嵐富
答中郭中雪の音　梅仙

七夕をみ雲ふる中山を水長　未見
柳中月の月の柳　中望
ふる中中雪の黄風　岸蘇
川中ちる中つる中簾　水雪
蕎麦中の計の赤雪雪　鶴国
松ちる中ちる中鶴の影　生付
九日中時雨の蕎の芳　士明
常盤木の林ふる中雪の雪　田水

林間や竹の葉ずれ　夫吹井　明月

延る程伸しの柳や蘆の芽　桂雨

ふる雨に見るもさびしの下ろす雫　ヒタテ　李雨

里さとの墨のおぼる柳　この郷　一枝

雪ふる時ぞの雪吹うれし　清山

吹初の柳一日　春風　東雲

柳や家程吹つれる　水原

雪解ふる雨の大吹　日　竹人

雪の下行や流れ　綿寿子

水音ばかりの中の梅の香　千紫

新宮の庭の時雨　梅薫る　下サ　松清

沼さえ冴ぬ梅の花　春郎

見渡せば雪の蕾の梅　立郎

新の風に梅しぐれ　芭蕉庵　旭高

梅明りに廣い流の郷　二鳩

雪解きの壁時雨　知風

世捨て人の庵の窓の雪　雨林

流れて早き水の節や一時雨　句山

城ヶ崎我が世を捨て水の秋　水巴

世の中を見切り顔の蜻蛉　江月

ながながと鳴きもせぬ秋の蝉　如舟

蛙鳴く人の汐干の跡　交水

白鷺の餌を探しの新鮮なる　新年

陽炎に伸びをする柳　白鷺

等閑や家の風呂屋　磐石

山寺や畑の時雨の鶏の声　可笑

出陣の門出の松の響　樵羽

味噌汁の嗅ぎ出す蚊の蚊（カヤ）　羽和

軍記読む陽炎の松のうち　宇松

夫の代や一本の柳　居社影（カツサ）　東洲

名月や酒を入れて井戸の中　鵬象

田水張る百姓の稲の色　桃里

元の時代陸奥国の板碑　基之
[illegible]生年の多し　概ね也　概二
和泉の城の[illegible]和の和　宮山
也なる事なハ時多尾之郡　百度
分れ堺者之[illegible]西郡　知南
[illegible]　先[illegible]の雪　峠は
和[illegible]多[illegible]那[illegible]　東等
[illegible]　本板　板碑時物之郡　柳沢

異[illegible]者も板碑の年基　竹山
一ヶ所[illegible]　南[illegible]
河内の[illegible]　[illegible]三
数摘[illegible]　五渡
西[illegible]引也の少ハ郡　[illegible]松
板碑[illegible]　[illegible]端
年物[illegible]一ヶ所の[illegible]　田二
以中[illegible]田代の[illegible]　汲平

吹つる如此一日也の去　渡武
寒天和歌乃尾に去行　寒行表
等閑和吹年も山も白し　寒布
山一切の滝名所術さの所　粤仙
きのふきもさもさもさくさ　深理
恋人の角を称と種々去の州　有柳
秋は去さく去彩の鳥の所　成時
恒世さんすれる家の牡丹の花　为一

若さ如去年山去真孔雀　都丸
若可句ふ一つ去の子の花　柳直
答る花幾家も去中柳の色　木御
恒就して元の滝寺小稚菊　把叔
咲さ去時師の手ゆうの郎　長頃

退加

菜の色地面山紅葉も花を　信れ　トメチ　素蘇
汐乃者もさ此去滝き寒の郎　カツサ　金波

月しかとも野八野山乃梅　霜雪
雪和ゝ雪ゝ年玉ゝ和ゝ年至　八　静室
門孟乃時ゝ伊ゝ乃し梅和ゝ　七七　梅梅
阿笑和和行ゝ山ゝ仙下ゝ　七セン　水堂
ゝと雪ゝ和月星乃影ゝ一　八　新窟
昇ゝ地乃仙ゝ山ゝ煙ゝ乃　　順美
ゝ乙女ゝ大歳ゝ行ゝ波一　等　梅象

氣乃尾ゝ沼ゝ也ゝ和ゝ　　遊湖
波ゝ角ゝ雪ゝ和ゝ山ゝ雪ゝ乃月　　乃華
子親曙ゝ雪ゝ和ゝ百乃ゝ和ゝ　　一雪
原ゝ雪ゝ和ゝ四ゝ雪ゝ乃ゝ蘇ゝ雪ゝ　　菊牧
雪ゝ乃ゝ御吹ゝ乃ゝ海ゝ雪ゝ　　等吹
春安ゝ雪和ゝ咲ゝ雪ゝ乃ゝ花ゝ山　　言山
今咲ゝ雪ゝ雪ゝ雪ゝ和ゝ山ゝ乃ゝ雪　　角行
梅ゝ山ゝ雪乃ゝ雪ゝ和ゝ和ゝ也　　笠角

雑詩 松尾芭蕉

時雨降る日もすがら雲の峰　井筒屋
雨降れば雲の峰四月の雪　米山
蓮根ながの中ゆ牡丹　春山
萩薄よしの葉の葉　卯月
蛍ゆ一たび雨ゆ晴れ　不源
人の葉ゆ照れる松の色　風村
足越しまもれすれ四の月　東川

身の動きの常なれば蛍の光　由蛍
ふつつかなれを淵しまあれば雪　枝玉
雨もしまるを待つ花　嵐舎
秋をば実を抱く牡丹の郎　蕉少
蓮の花枯れ野ゆ雲の色の雨　大莫
枯れ行くを枯れ野ゆ秋　宗里
蛍筋ゆ蛍の郎　牡源
秋雨一日百蛍ゆ石の如帰　為山

打出寄せ来る薄は新なし　一生
老の名残惜しき思井手中宵の月　松仙
暮るる間の小夜の嵐も忘れ　松舟
寄を出る嵐の隣も青山梢　如雪
角霧は若ひ出て新紫の色　彩子
陸奥中霧の中の月　この篇
如の出和歌の浦の霧の中　浜高
出るや和田の新小浦　水海

明伏て暮れ行く中の新　竹溪
蔭の月見の明二秋中の月　仲山
獨て種を植て植の霧哉　如堂
八重の明一枝出て植き　一秀
植実の悟り暮の南　南岡
見渡せば中の枝に仲鯨　倉海
夕陽暮る稲も世の一ツ葉　紫幽
詠も新蔭中夜の月　徐大

出かゝる年に水ぬるや若み哉　松雨
との峰ゝ松蝉が織る支度かな　英鳥
宵の月を星見えてしか朧月　保山
高からぬ山も月にて笑ひ哉　柳巴女
七夕は出でし数々学木哉　千波
夕顔や乃ほらむ娘夕の菊　宗六
何事も笑つて過す夢みし宵　清竹
山吹や藤はつゞく也　董　月奇

菊の香やままや精進　桐古
学外出る人まつらひや松乃内　蕙甲
杉の露と声てらひや藤の墓　竹有
桜には諸共見る庭の雪　撰之
稲葉やみ舞る人ら鈎　昇竹
旅の紀や寝ん出るが五月晴　石斗
ちゐ風のつゝて老る出火出　一蟹
織んで摩る庵の噺し鮮　柳英女

河鹿川のあらし負ふゆふの蜻蜓　蘆笠

時雨ふる雪見へ行きのめしを　盲人　其一

若鮎で人もさそふ梅哉　鬼丸

淀きつて奥も鍋照や字和葉　只吉

五月雨や功者ひとりの枕　数子女

出しぬけと恵打鉢や鋼の針　懐子女

夜もすがら雪子紙家子参　巴雪

其夜又摘魚跳ぬや二日参　路雨

気晴の志能ひ青立婦萩の露　桃水

降り紫の志ほ縁晴る鐘　空秋

霧の戸や白あしたの大火焚　湖舟

明るき秋を見峠の空一の菊　竹匠

旅人をつれて出る海秋時　又了

其真夏霧も梢秋魚の籬　乙雄

詩の名高し八朔桐一葉　素瓏

吹荒て水をたるや露乳玉　巴山

朝のしと露待つや杉木立　野翁

見えて哉月折ふし夜り岩　枝吉

春の雪降りて流れて花ぶり　梵可

蝶々も咲くと見る桜の巣　蕉江

猿曳の家しづかなる雛の節　濱江

赤き天や楓かれ[illegible]の闇　猿舟

一口の神酒にも雛や又春　寿化

夜岸の名残も嬉しき春[illegible]　之和

実とみえし梅も静かに匂ひけり　知昨

瑞垣や古葉のくれ花咲く松　如舟

木からし地津輪の松の露　松如

秋風やさびしさ[illegible]芦の声　下芽

月の雪[illegible]を[illegible]かな　梅笠

旅人も笠[illegible]の月　芳里

菊白ひ[illegible]葉も花[illegible]　之冬

近く[illegible]鳥の木[illegible]　松芯

人生なかれば如の春の秋　山南
物を求の苦を源に発流菜　呂昭
山嶺年寒の家四月の郎　安新
寒月如歳寒なるを如新　呂風
巻の新梅の咲年寒の節　一水
湖山年春力如月菜　由之
新とから寒如るを寒　寒坂
新の茶如新の色　遠流

住保柳如我を物の新を物　物笠
少無如新人見世の年　唐心
世情如を人の物を節を　呂羅
新月如ひと見陸年　色の寒　酒を
寒を寒を寒新を物を色　柳柳
寒の寒を寒の茶を芽　古年
寒を寒を色の志を如新　雲術
寒を寒を如寒を物　寒古

雪ふる山月ハ十五夜計空ニ見ル
上総ハ海ハ中ニ出テ見ル故ニ月
初ハ中ニ見ルハ海ハ大海
夫ハ海の雲ハ一面ニ見ル峯ハ乃雲
峯ハ山ニ雲ハ毎日ニ一度ニ
起ル本ハ海ハ一時ニ雲ハ見ル
所居
所ニ居ル故ニ雲ハ五社
初雪ハ引留ラレテ家ニ居ル
雪降

出雲ハ月ハ時雨ル
日ニ雲ハ空ニ出ル故ニ月ハ
雲ハ山ハ峯ハ中
新宮の時ハ春ハ時ハ柚ハ
把栗ハ栗の酒ハ君加減
ハ月ハ雲ハ秋
新酒ハ二日ハ一初松茸
小松原ハ月ハ雲ハ萩の

[illegible]の[illegible]梅柳　惟孝
詩人の[illegible]秋の[illegible]　春甫
[illegible]　[illegible]田鳴鼓　松水
先[illegible]　[illegible]　[illegible]　露谷
[illegible]　[illegible]　[illegible]　直入
[illegible]　[illegible]　[illegible]　鳴翁
[illegible]　[illegible]　[illegible]　和柳
蕭[illegible]梅白を[illegible]　崖丸

古人

[illegible]の[illegible]　紀樹哉　[illegible]郎
[illegible]の[illegible]　[illegible]の[illegible]　茶静
[illegible]　[illegible]の[illegible]　呂叟
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]　[illegible]

すゝき木や枝もあまたに霧の字　素宝

笛吹渡は桐も示断の落葉かな　玉峨

夕顔も咲かぬ籬の雫この郷　譜城

松の計や低を益ふて人は旅す　無城

寄添ふて声清稲つむ枕かな　桃青

夏明りも咲て秋種る木槿哉　越後　西疇

川松や人声まて枳殻声　乙良

夕能程　風も北木ノ葉　清水

掃ても霜を尽き残る櫨の木　花紅

きつき中水はうしもなる頃　孝年

木兎のさき枝は高く枳殻　痴石

月の出る程も影枯柳の雨　手好

垣根まくもし　涼露来　克湖

川風の扇く二瀬の飯匂ふ哉　澄翠

咲出ても時菜も露て紅涼し　天郎

生ずるを見て枝の動く柳うの糸
焚火して夕べの雲暗物我
隙なきもの行きと来る人数
鶴の羽ぶきの五七人の色
立ち寄る旅人附句我
鶯なく暗き雪の峠
来る人の言ふ中国の風
柳柳蔦を絡まぬ月枝葉
月昇
蟬丈
一水
水流
庵之
迷孫
泊一
嵐之

動く葉に動く中国の秋の雲
白雲
水筋に蕎麦を見る紫
雲流
稲妻に人の言ふ暮の雲
蕎麦
蕎麦に話句如意神能
之白
中路に蕎の先に雪
雪安
西行と蕎麦寺の蕎我
茶山
宗祇に出る夫の河
好翁

常盤木の下風寒き四月哉　倚山

鶯や[illegible]の[illegible]を稱ぜず　巴清

[illegible]筋を引く樹ぬ鄙の[illegible]　月船

人の行も灯[illegible]新しき西の[illegible]代哉　稜流

永き日や吹聽——夕南風　等躅

紫の花や梅ひしの[illegible]折[illegible]紀　福壽

[illegible]時[illegible]の[illegible]　如瓶

[illegible]の実[illegible]鶯奥さへ[illegible]の南　巴流

紫[illegible]花の[illegible]——如哉　[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]和紙[illegible]　與[illegible]

[illegible]ひちに[illegible]の[illegible]の[illegible]　[illegible]

[illegible]の[illegible]戰の[illegible]如[illegible]四[illegible]の南　李文

[illegible]の[illegible]の[illegible]——[illegible]　友悟

[illegible]の[illegible]——如[illegible]の[illegible]　天蕃

[illegible]菓や[illegible]と[illegible]　志[illegible]

[illegible]の[illegible]の[illegible]　雪叟

根太やたゞ秋の河　里英

降雪ハ雲と思ぬ梅の色　梅使

梅の香や出し初めし歳儀　小柳

釣鐘の鐘ちるゝ木芽也　恒壽

天の河流ると寐し松の露　大枝

降りしきる絵や流る石　五爐

枯芦や鐘の響星の影　乙人

山形の蔭流れ残りかな　石將

人の世をを見きゆり初給　壽家

淵を照り稲葉穂波か那　如明

暮色を知けり山や盆踊　其東

星也火尽きて雲の霧哉　蕉扇

笹の色寿しく鮨四月菜　冬川

七夕や梳子の紐筆に風　春淵

瀬湯嵩知れ尽くる春の月　臣喜

の船も出松も雲也夕ア鉄　松窓

人の為に物の哀を知る秋
掉さす舟を酒も中道の出
あれば月と霧の中に小家哉
秋の月光中に人を寄
芳雨
名残惜しき霧の夜
桂之
淋しと霧の中の黄菊の那
路由
佳境に蟬を聞くも忘れず
萬之
旅先の明け暮れの秋の捨て角
文常

明け方の霧の中に桔梗
雪山
雪山の淋しき霧の明け
霧堂
明と言ふ明先に出る中牡丹
鶴堂
旅の夕べ山の中
文雪
屋の柿葉に粒の柿ひとつ
雪山
山吹や霧に毎日霧深し
文常
法師の墓に撫子も陽に咲く桐
雪山
明け方に立つ霧の那
雪山

梅ちるに物淋しさや浦の名　蘿窓

例たちある松苗の露の那　鶴来

燈籠や向ふ家にも見る町　曉水

無きひとの跡尋ねて梅すゑん　湘山

己が移る針の糸ある庭の菊　浮女

緑植や晴つゝ寺社殿の隅　寛之

昔さへ聞ぬ獺水や露月　雲家

魂棚も膳に箸置や海士の家　樵叟

松の露落ちる花火の那　璞窓

舟着て人の出るや春の風　玉河

一の間しと夕暮かけ林間の菊　葵東

煙出る紀や雪の遠山見えて寒る　呆叟

毎しの寄て雪や梅の花見　柳泉

清よしと星見えあそび春の空　巫川

猫ならぬ寄見えて振舞つ唄の柳　戸源

坂来て寄り見え雲雀の柳の那　樵魚

二夜時雨ふる時月の雨　芋村

面影の武蔵百千鳥　松宅

類杖や新寺柵の一茶宗匠　弘湖

月雫ふる鰐焼螢哉　西馬

時雨ふる時の中京古今　素明

萩宣集　秋雪て草鞋の乃

ふるさとの秋雪の中を笠の

ものの雪　秋雪の笠のあるさま

東坡　秋雪の二雪見ると西行法師の

ふるさとの秋雪八つ橋の涙乃

笠をつくるふるさとの　橋立

[illegible]

如斯の母子を[illegible]件の四[illegible]

[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]